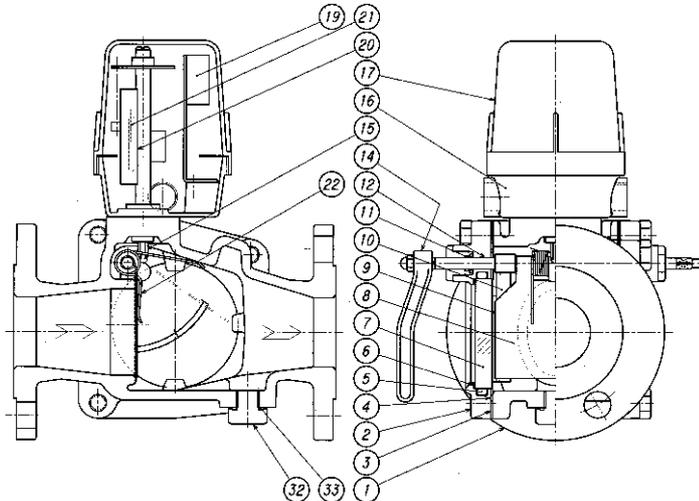


OPERATION MANUAL

TYPE -REM/-PLS

FLOW GAGE

※SR型（ネジ込型）15 - 40Aにも適用

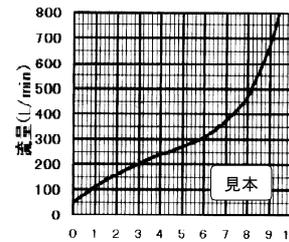


部品表			
符号	部品	数	備考
1	本体	1	
2	カバー	2	
3	ガスカート	2	
4	Oリング	2	
5	Oリング	2	
6	クッションガスカート	2	
7	サイトグラス	2	
8	フラッパー	1	
9	ブラシ	2	
10	ブラシホルダー	2	
11	Oリング	2	
12	スピンドル	1	
13	---	---	
14	ハンドル	1	
15	マグネットシステム	1	
16	ターミナルボックス	1	
17	同上用カバー	1	
18	---	---	
19	ターミナル台	1	
20	リードスイッチ	1	
21	リードスイッチ	1	
22	スプリング	1式	
32	ドレプラグ	1	
33	Oリング	1	

※材質は納入図面を御参照下さい
※22スプリングの有無は、製品仕様により決定

定格接点容量			
スイッチ型式	最大使用電圧	最大接点容量	
SPST	890 AC/DC200V	100VA/W	
	3717 AC/DC200V	10VA/W	
SPDT	RS AC125V/DC100V	10VA/W	
	834 AC/DC200V	100VA/W	
	4003 AC/DC100V	10VA/W	

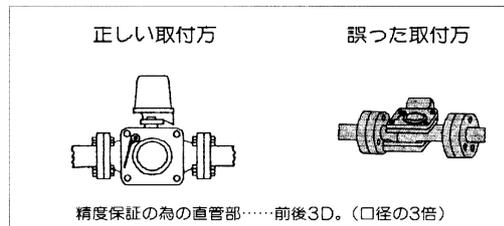
配線ならび電源側の影響による定格外の使用となり、リードスイッチを破損させることがあります
外部からの影響が予測される場合には、バリスター抵抗等による接点保護対策を行なって下さい(オプション対応可)



※実際の流量は現品添付の表で確認してください

配管接続

- フローゲージ配管抵抗が加わらないように正しく接続できることを確認してからボルト締めを行って下さい。
- ターミナルボックス上部には、壁面との隙間を空けて配管して下さい。
- ⑦サイトグラス面を垂直にして⑧フラッパーが目盛0の位置になるように取付けて下さい。



※現品の流れ方向に従って
取り付けてください

スイッチ部電線接続の注意

- 通電したままで接続作業をしないで下さい。
- 接点容量以上の電力を接続しないで下さい。

保 守

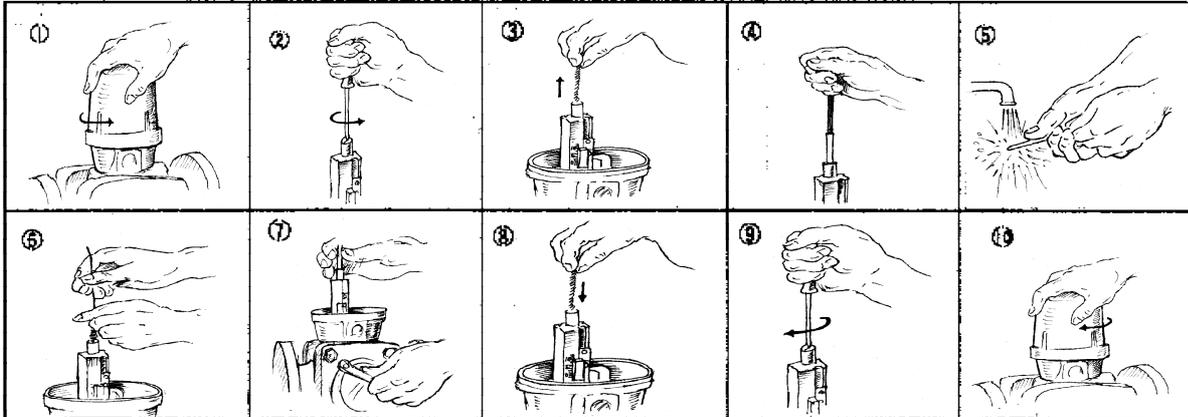
A サイトグラス内面掃除

- ⑦サイトグラス内面が汚れて流れが見にくくなりましたら⑭ブラシハンドルを左右に回動して数回繰り返して掃除して下さい。その際にハンドルが重たい場合には、無理に動かさずにゆっくりと徐々に操作を行ってください。 ※注意！：無理に操作をすると機器が破損する可能性があります
- 運転中に行っても信号に影響はないのが一般ですが、⑧フラッパーの位置が断流、減流状態に在る場合にはフラッパーを押し上げるので増流の信号が出ます。
※注意！：その事が障害になる時は電源を遮断して操作して下さい。
- 掃除が終わったら⑨ブラシが⑧フラッパーの運動を妨げない様に0目盛以下に格納して下さい。
- ⑨ブラシはガラス掃除の他、⑧フラッパーと⑫スピンドル間の芥取り、フラッパー正動維持等に利用できます。

注意！ 縦型 -FR-U-REM(下から上)
-FR-D-REM(上から下)

B 分解と掃除

- FR型フローゲージは、ワイパーリング機構が付いておりますので、分解、掃除の必要はありません。
- 但し、サイトグラスよりボディー内部を覗いて（サイトグラスはワイパーを使えば、常時キレイに保て、ボディー内部をよく見る事が出来ます。）サビ・ヨゴレ等が甚しい場合は、以下の簡単な掃除を行って下さい。
- ◆先ず電源を外し、フローゲージ前後のバルブを止め、水抜きをして下さい。



- 1 カバーを外します。
- 2 プラグをマイナス（-）のドライバーで緩めて、プラグを外して下さい。
- 【注】（上記操作をした時、プラグ部より水が出ます。端子部に水がかからないよう注意して下さい。）
- 3 スプリングを抜き取ります。
- 4 5mm 六角棒スパナを、マグネットステム（以後ステムと称す）の窪みに押し込み抜き取ります。
- 5 ステムをよく洗浄して下さい。
- 6 ブラシで管柱内部を掃除して下さい。
- 7 10目盛以上に振り切り、ステムを入れます。

（ステムを入れる時、フラッパーを振り切りの状態にしないと、カム部をキズつける場合があります。）ステムは、マグネット部を上に入れて下さい。

- 8 スプリングを入れて下さい。
 - 9 プラグを締めて下さい。この時O”リングを切らないよう、充分注意して下さい。
 - 10 カバーを締めて下さい。
- 以上で分解・掃除は完了しました。
- ※ サビ・ヨゴレ等が更に甚しく、ボディーの分解掃除が必要なときは『ボディーの分解掃除マニュアル』を参照下さい。

C スイッチ（信号）の調整

- 信号流量を変える必要が生じた時、焼損、その他の理由でスイッチの交換をする時、次の如く行って下さい。
- リードスイッチを封入しているスイッチケースを移動して行います。（必ず信号電源を遮断してテスターを接続して行ってください。）
- ターミナルボックスカバーを反時計回りに廻してあけて下さい。
- スイッチケース上部のロックナットを緩め、次の要領で移動します。
- 流れを止めてフラッパーを0目盛りに戻します。ブラシを使ってフラッパーを移動して現在の信号位置を確認します。
- 移動の方向 信号流量の増す時は調整ビスを右へ、減す時は左へ廻します。（調整ビスを右へ廻すときは、ロックナットを緩めながら行って下さい）ビス1.5回転廻して、10分割目盛の約1目盛分、設定は移動します。
- スイッチケースを移動して、テスターの作動位置が新調整信号位置です。ロックナットを締付け、フラッパーをブラシで数回作動して信号の正しい事を確認して下さい。
- ターミナルボックスカバーを取り付けて完了です。
- SPSTのスイッチで接点の開閉を逆にしたい時（1a→1b or 1b→1a）は1a用1b用のスイッチがありますので別途御注文下さい。調整の仕方は、上記のとおりです。

